

わかりやすく、興味を持ってもらうためのレイアウトの変更

様々な主体が緑の保全・創出に取り組んでいくために、その総合的な計画である緑の基本計画の内容がわかりやすく、興味を持ってもらえるものであることが必要です。そのためには、読みやすく、理解しやすいレイアウトも重要となるので、下記の点について変更を検討します。

ただし、レイアウトについては計画内容決定後の最終的な作りこみになるため、現時点では、変更案としてご提示し、その方向性について事前に確認させていただきたいと考え、変更イメージをまとめました。

表紙の変更

現行計画では、市域図を背景に、アンデルセン公園等の写真を配したデザインでしたが、全体的に写真も目立たず、印象に残りにくいものでした。タイトルも「緑の将来像」である『歩こう・ふれよう「緑・水・ふるさと、ふなばし」』がメインで、この冊子が緑についての総合的な計画書であることも一見してわかりにくいものでした。

そこで、今回の改定では、「緑の基本計画」であることをイメージできる表紙に変更します。

- 変更点**
- ・タイトルを「船橋市緑の基本計画」とします。
 - ・計画の内容に関連し、内容がイメージできるような写真を多く配することで興味を持ってもらいやすい表紙とします。



見出しやインデックスの表示と色分け

現行計画では、見出しごとの色分けがされておらず、該当ページを探しにくい点がありました。また、読み進めていく中で、自分がどこを読んでいるのかも把握しにくい状態でした。今回の改定では目次と連動した見出しやインデックスといった表示を追加します。

変更点

- ・目次を見出しごとに色分けし、それと連動して各ページの見出しやインデックスを表示することで、検索しやすいレイアウトに変更します。

【見出しの表示イメージ】

1 緑の機能

目次と連動した見出しの表示

① レクリエーション — 健康の維持ややすらぎ —

緑はスポーツなどのレクリエーションや学習活動の場としても利用され、緑を介してさまざまなコミュニケーションが生まれます。緑は私たちに精神的な安らぎを与え、健康を維持・増進するとともに、暮らしを豊かなものとする役割を果たしています。

目次と連動したインデックスの追加

1 緑の機能

各施策の記載方法の変更

現行計画では、各施策が文章の一部に織り込まれており、こういった施策を展開していくのかわかりにくい状態でした。今回の改定では各施策を明確に表すことで、誰もが理解しやすいものにするとともに、実効性を高めます。また、個別施策においても目標を設定できるものについては記載していきます。

変更点

- ・各施策を整理し、明確に記載します。

【施策の記載イメージ】

個別施策を明確にします

1-1 樹林の機能評価 新規

市内の樹林地を都市環境の保全や景観形成、防災といった緑の持つ機能から調査・分析し、各箇所の機能を評価します。それにより、今後の保全方針や施策展開の検討、開発指導等に活用していきます。

1-2 都市緑地による保全 継続

市内の樹林地の中で機能の評価が高く、保全すべき重要度が高い樹林地を、買収もしくは借地し、都市緑地として保全します。

【目標案】 H26 H37 H47

都市緑地面積 36.4 ha → 40 ha → 50 ha